

# Hirata

The Global Production Engineering Company

## 2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

平田機工株式会社



# I. 決算状況

2019年3月期 第2四半期

Hirata

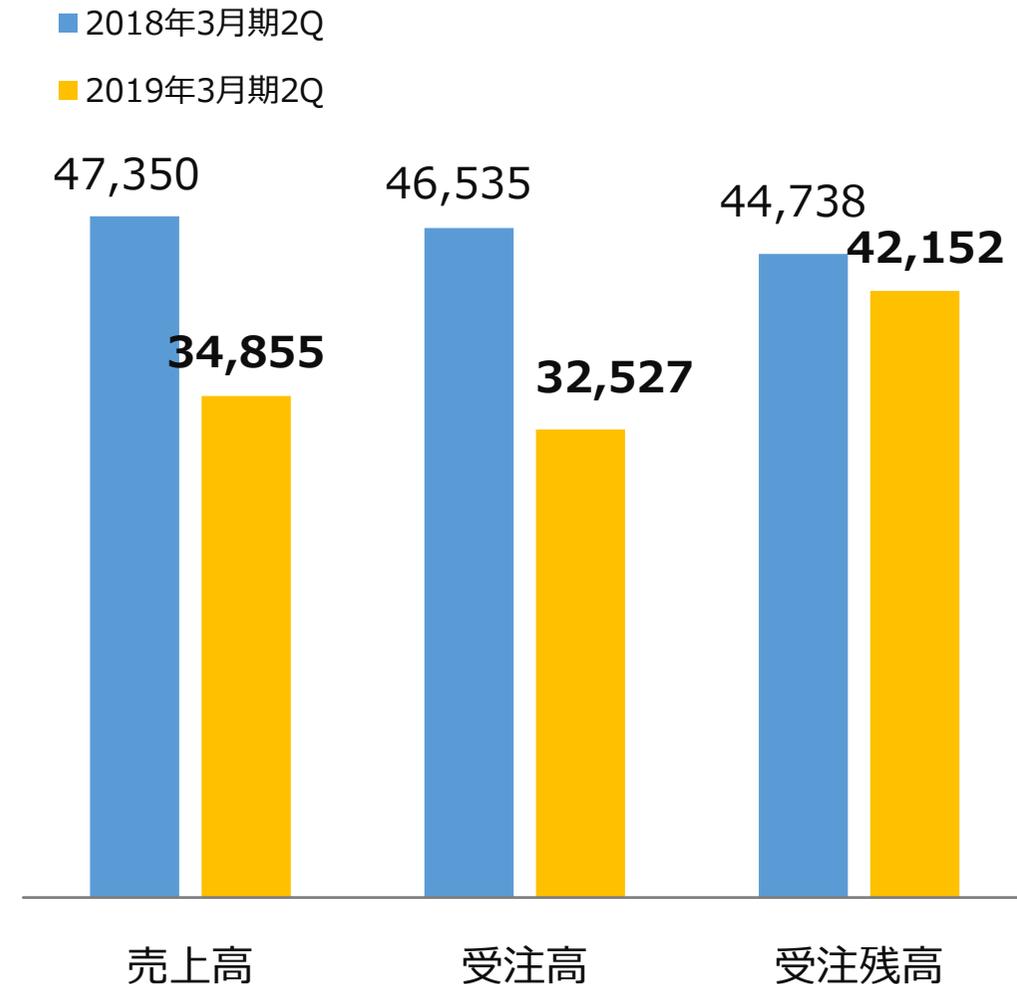


## 決算概要

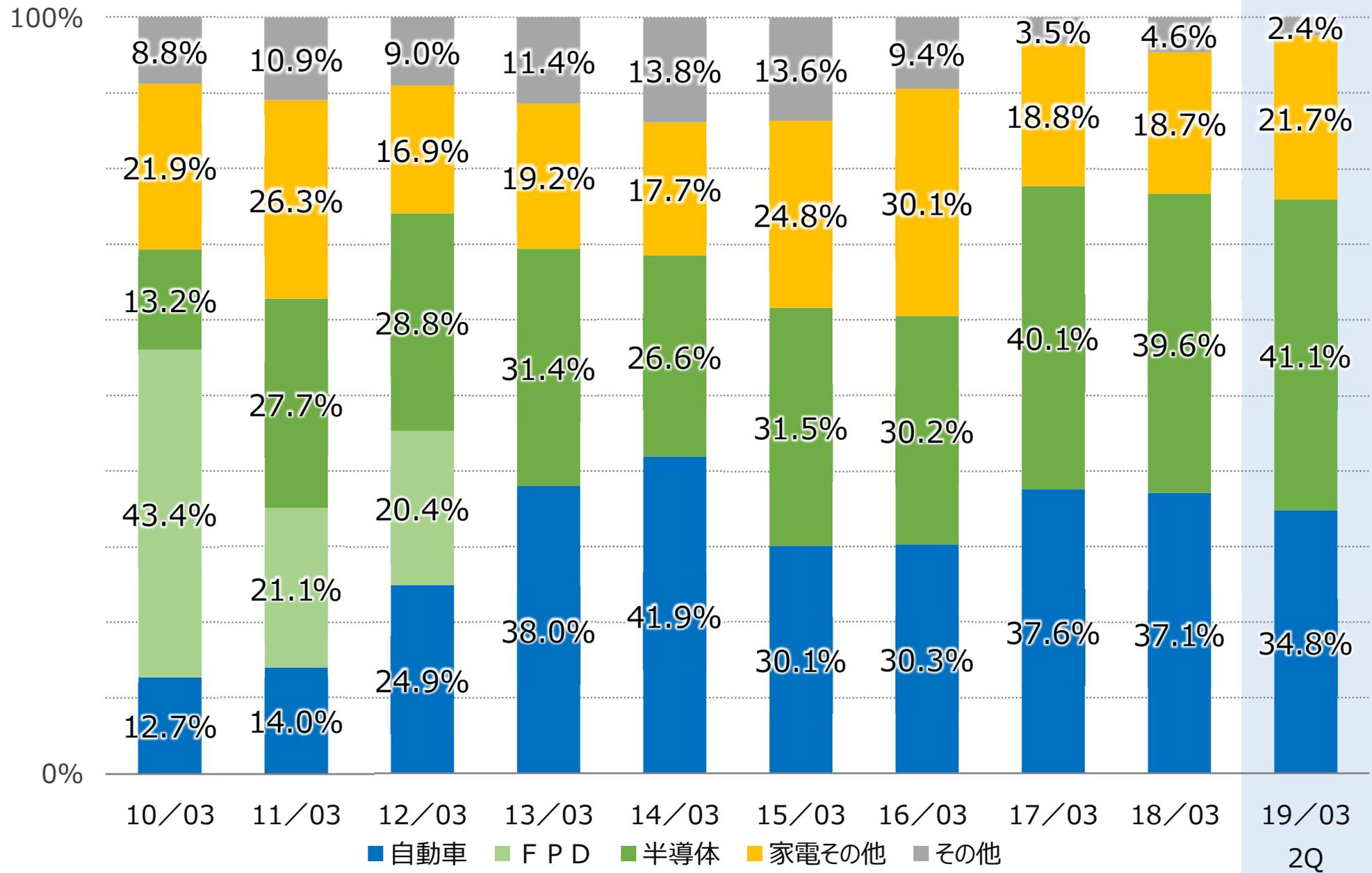
電気自動車（EV）関連の受注や新規顧客開拓に取り組むも、自動車関連における受注・売上時期の延期や有機EL関連における設備投資の先送りなどの影響により、減収減益となる。

(単位：百万円)

	2018年3月期 2Q実績	2019年3月期 2Q実績	増減率
売上高	47,350	<b>34,855</b>	-26.4%
営業利益	5,807	<b>3,525</b>	-39.3%
経常利益	5,616	<b>3,723</b>	-33.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,966	<b>2,614</b>	-34.1%

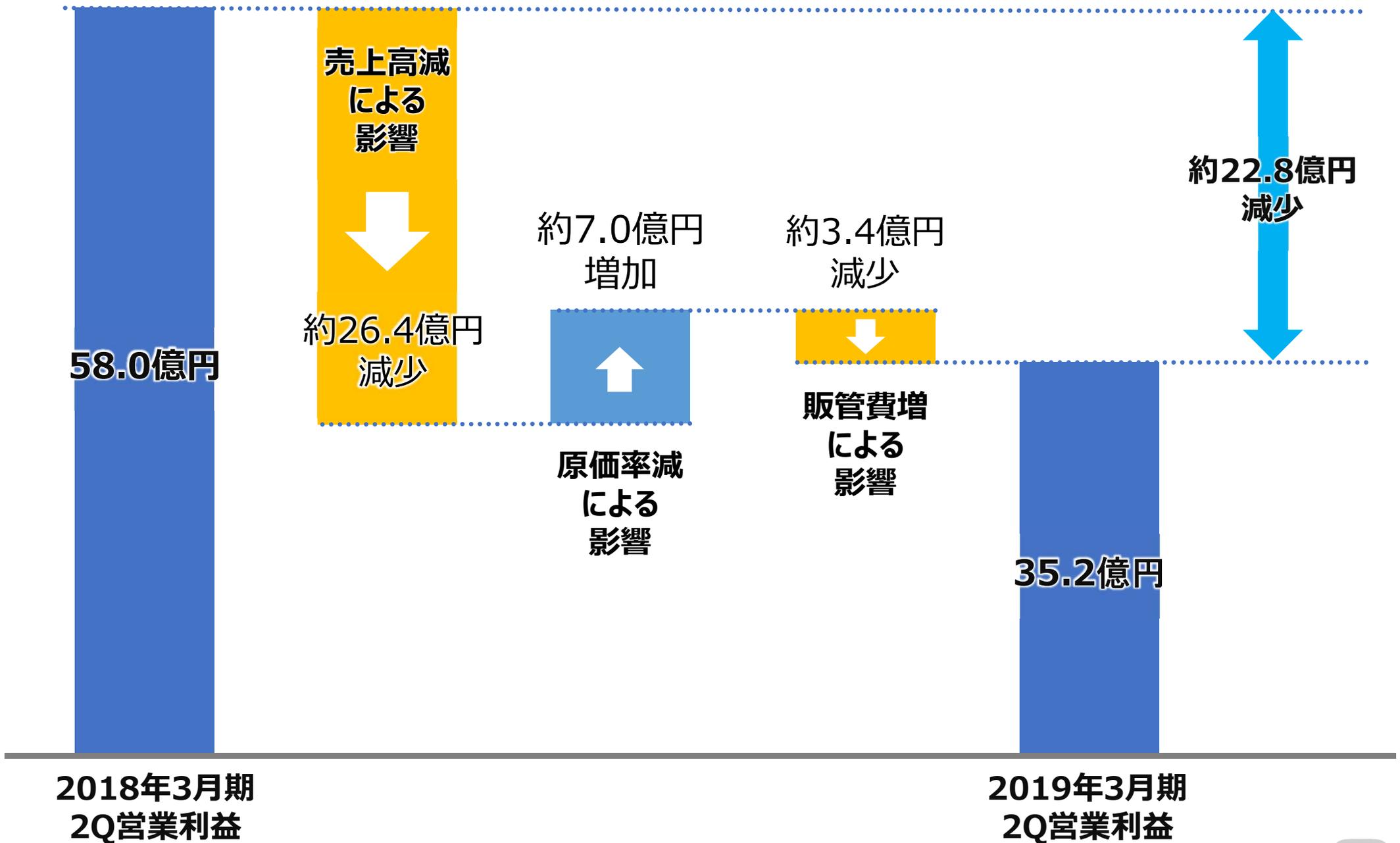


# I 決算状況 事業部門別売上高構成比推移



※2013年3月期より、FPD関連事業は半導体関連事業に統合

# I 決算状況 営業利益の増減要因分析



## 貸借対照表

※2018年3月期および2019年3月期1Qの金額は、改正後の「税効果会計に係る会計基準」の表示に組み替えております。

(単位：百万円)

資産	2018年 3月期	2019年 3月期2Q	増減
流動資産	71,467	<b>67,943</b>	△3,523
固定資産	23,863	<b>24,622</b>	+758
有形固定資産	17,376	<b>18,347</b>	+970
無形固定資産	814	<b>732</b>	△81
投資その他資産	5,672	<b>5,542</b>	△130
資産合計	95,330	<b>92,566</b>	△2,764

負債	2018年 3月期	2019年 3月期2Q	増減
流動負債	37,485	<b>39,448</b>	+1,962
固定負債	11,262	<b>6,929</b>	△4,333
負債合計	48,748	<b>46,377</b>	△2,370
<b>純資産</b>			
純資産合計	46,582	<b>46,188</b>	△393
自己資本比率	48.3%	<b>49.3%</b>	+1.0Point

### 主な増減項目

#### 資産

売上債権	△6,041
現金及び預金	△773
棚卸資産	+2,900

#### 負債・純資産

未払費用	△531
仕入債務	△505
未払金	△430

## 想定為替レート

想定為替レート	2018年4月1日～9月30日 実績レート	2018年10月1日～ 想定レート
為替レート (対US \$)	107.56円	100.00円

## 株価推移

(単位：円)

株価推移	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年3月期		
			7月	8月	9月
最高	9,560	14,720	8,050	8,760	8,780
最低	2,275	8,030	6,600	6,800	7,780
末日	9,010	9,780	7,430	8,610	8,180

## PER/PBR/ROE

PER/PBR/ROE	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期2Q
PER (倍)	14.43	15.26	—※
PBR (倍)	3.12	2.26	1.88
ROE (%)	24.30	18.18	—※

※PER・ROEについては、四半期の利益では比較に適さないため記載しておりません。

# I 決算状況 事業部門別売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)

	事業部門	2018/3 第2四半期	2019/3 第2四半期	対前年同期比 増減率
売上高	自動車	16,676	12,120	△27.3%
	半導体	20,357	14,327	△29.6%
	家電関連およびその他	8,075	7,564	△6.3%
	その他	2,240	843	△62.4%
	合計	47,350	34,855	△26.4%
受注高	自動車	10,911	17,774	+62.9%
	半導体	23,315	7,763	△66.7%
	家電関連およびその他	11,028	5,869	△46.8%
	その他	1,279	1,120	△12.5%
	合計	46,535	32,527	△30.1%
受注残高	自動車	19,620	23,112	+17.8%
	半導体	15,870	9,332	△41.2%
	家電関連およびその他	7,830	9,085	+16.0%
	その他	1,416	622	△56.0%
	合計	44,738	42,152	△5.8%

# I 決算状況 海外現地法人の状況

## 所在地別売上高



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	18/3 2Q	19/3 2Q	18/3 2Q	19/3 2Q	18/3 2Q	19/3 2Q	18/3 2Q	19/3 2Q	18/3 2Q	19/3 2Q
売上高	40,615	<b>28,386</b>	4,045	<b>3,044</b>	2,383	<b>3,175</b>	305	<b>249</b>	47,350	<b>34,855</b>
営業利益	5,448	<b>3,354</b>	394	<b>490</b>	137	<b>△344</b>	△9	<b>△13</b>	5,970	<b>3,487</b>

※営業利益の合計はセグメント間の消去をおこなう前の金額を表示しています。

## 有機EL関連・電気自動車関連状況

(単位：百万円)

	2018年3月期2Q		2019年3月期2Q	
	受注高	売上高	受注高	売上高
有機EL関連	13,528	12,781	295	4,931
電気自動車 (EV) 関連	1,663	4,429	4,276	1,617

### ●有機EL関連

半導体関連の売上のうち、有機EL関連は約34%の割合となり、前年同期比約61%減、受注高は前年同期比、約98%減となりました。

### ●電気自動車 (EV) 関連

自動車関連の売上のうち、電気自動車 (EV) 関連は約13%の割合となり、前年同期比約63%減、受注高は前年同期比約57%増となりました。

## お客さまからの表彰・受賞の実績を紹介

弊社は、10月にキヤントツキ株式会社から「ベストパートナー賞 2018」を受賞いたしました。昨年引き続き2回目の受賞となります。

これは、弊社が同社に継続して納品している有機ELパネルの生産設備の心臓部である真空蒸着装置において、技術力・生産能力などを高く評価いただいたものです。

弊社は、これからもより高い信頼を得られる製品をお客さまに提供してまいります。



キヤントツキ株式会社 代表取締役会長兼CEO  
津上 晃寿 氏（右）と一緒に

# I 決算状況 トピックス

## タイ子会社、JATCOより受賞

弊社タイの子会社であるHirata Engineering (Thailand) Co., Ltd. が、JATCO (Thailand) Co., Ltd. から2017年「リージョナル特別賞」を受賞しました。

これは、弊社のタイ子会社がJATCO（タイ）から受注した自動車のCVT（Continuously Variable Transmission）ケースを加工する設備において、技術力、価格も含めた短納期対応力などが高く評価いただいたものです。



受賞楯を受け取る  
弊社、タイの子会社社長 森 満（左）



# Ⅱ. 2019年3月期業績の見通し

2019年3月期 第2四半期

Hirata



## Ⅱ 2019年3月期業績の見通し 業績予想

2018年11月13日に通期業績予想の修正を発表いたしました。

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2018/5/10、発表の 2019年3月期 通期予想	2018/11/13、修正発表の <b>2019年3月期 通期予想</b>
<b>売上高</b>	94,163	95,000	<b>83,000</b>
自動車関連	34,955	40,000	<b>35,000</b>
半導体関連	37,338	30,000	<b>27,000</b>
家電関連およびその他	17,569	22,000	<b>19,000</b>
その他	4,299	3,000	<b>2,000</b>
<b>営業利益 (率)</b>	9,371 (10.0%)	6,500 (6.8%)	<b>5,200 (6.3%)</b>
<b>経常利益 (率)</b>	9,247 (9.8%)	6,400 (6.7%)	<b>5,300 (6.4%)</b>
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)</b>	6,666 (7.1%)	4,400 (4.6%)	<b>3,800 (4.6%)</b>

### 事業計画達成のための施策

- 自動車関連では、内燃系に加え、電気自動車（EV）関連の生産設備の受注拡大に努める。
- 半導体関連では、有機ELディスプレイ蒸着装置の受注が減少するが、IoT関連や自動運転技術などによるシリコンウェーハ搬送設備案件の拡大が見込まれる。
- 成長市場への積極的展開に加え、効率的な生産体制の構築、収益基盤の強化に努める。

### 1株あたり配当金・配当性向 推移

(単位：円)

	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期予想
1株あたり配当金	15.00	30.00	100.00	<b>125.00</b> うち記念配当25.00円	<b>125.00</b>
配当性向 (%)	16.4	17.5	16.0	<b>19.5</b>	<b>35.0</b>

※配当性向は連結ベースです。

### 配当予想について

弊社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しながら安定した配当を継続していくことを基本としつつ、一方で経營業績に応じた弾力的な配当を実施することも肝要であると考えており、業績、経営環境および財務状況等を総合的に勘案した上で決定しております。

なお、2019年3月期の1株当たりの期末配当は、昨年に引き続き125円を予定しております。

### 自動車関連事業

世界の自動車販売数は、新興国がけん引し成長するが成長速度は低下の予測。国内は横ばい。業界は変化の時にあり、電動化、情報化、知能化といった技術進化が新たなビジネス市場を創出する。EVは、インフラ、電池寿命などの課題解決に向けた取り組みが積極的に進められる。弊社は、当初予定していた米国完成車メーカーの燃料電池向けなどの設備投資が延期したことを受け、減収。

### 半導体関連事業

半導体関連市場においては、メモリ市場の成長およびディスプレイの有機ELは鈍化。自動車・産業向けの需要が拡大。弊社は、有機ELを搭載したスマートフォンの販売計画の遅延により、減収。有機ELの将来性を見込み、今後の成長に期待。

### 家電関連およびその他

弊社の主要顧客である高機能家電メーカーについては、投資が一旦落ち着き、次の機会の継続受注に努める。また、タイヤ関連の受注も見込まれる。

# Ⅲ. 参考資料

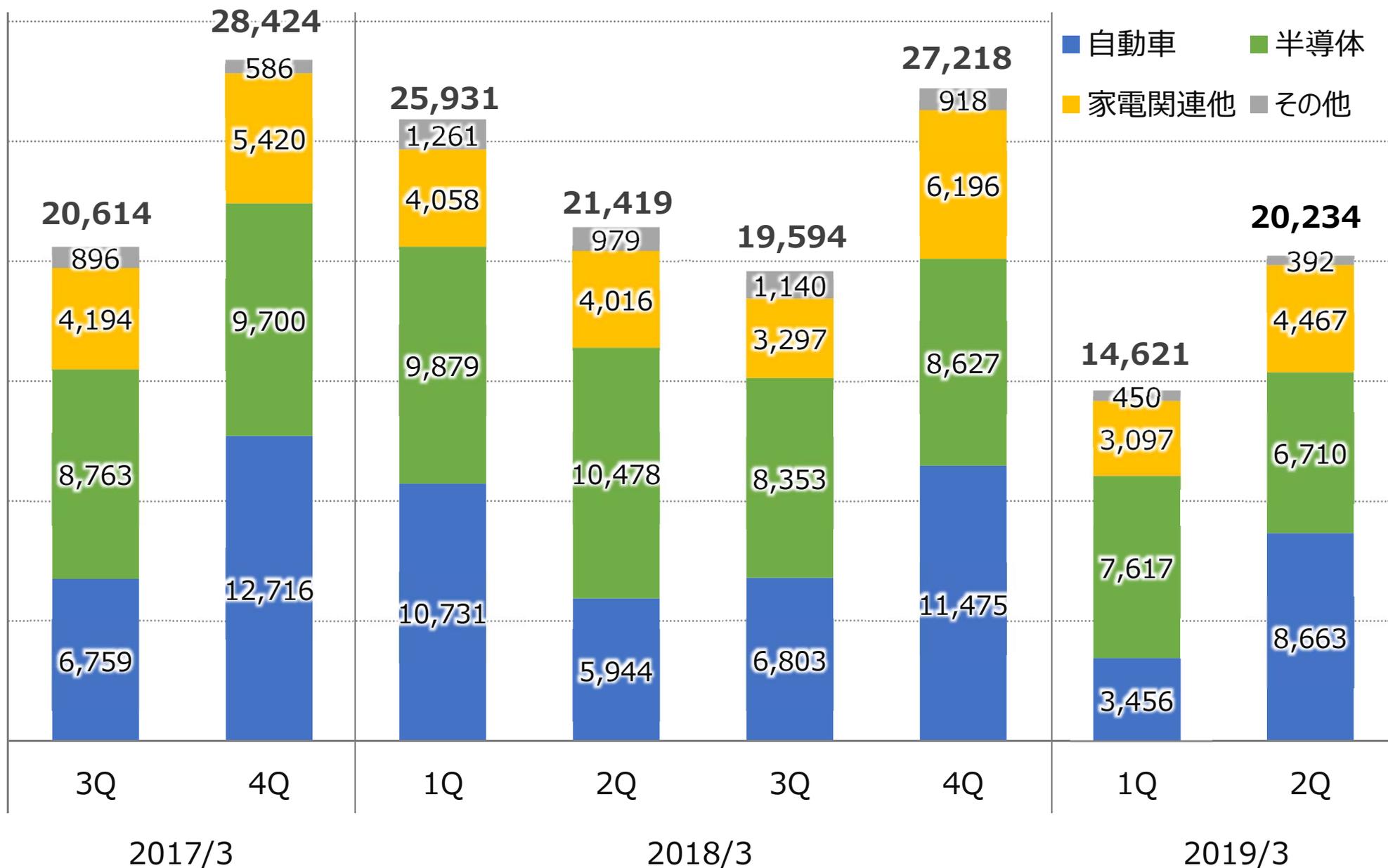
2019年3月期 第2四半期

Hirata



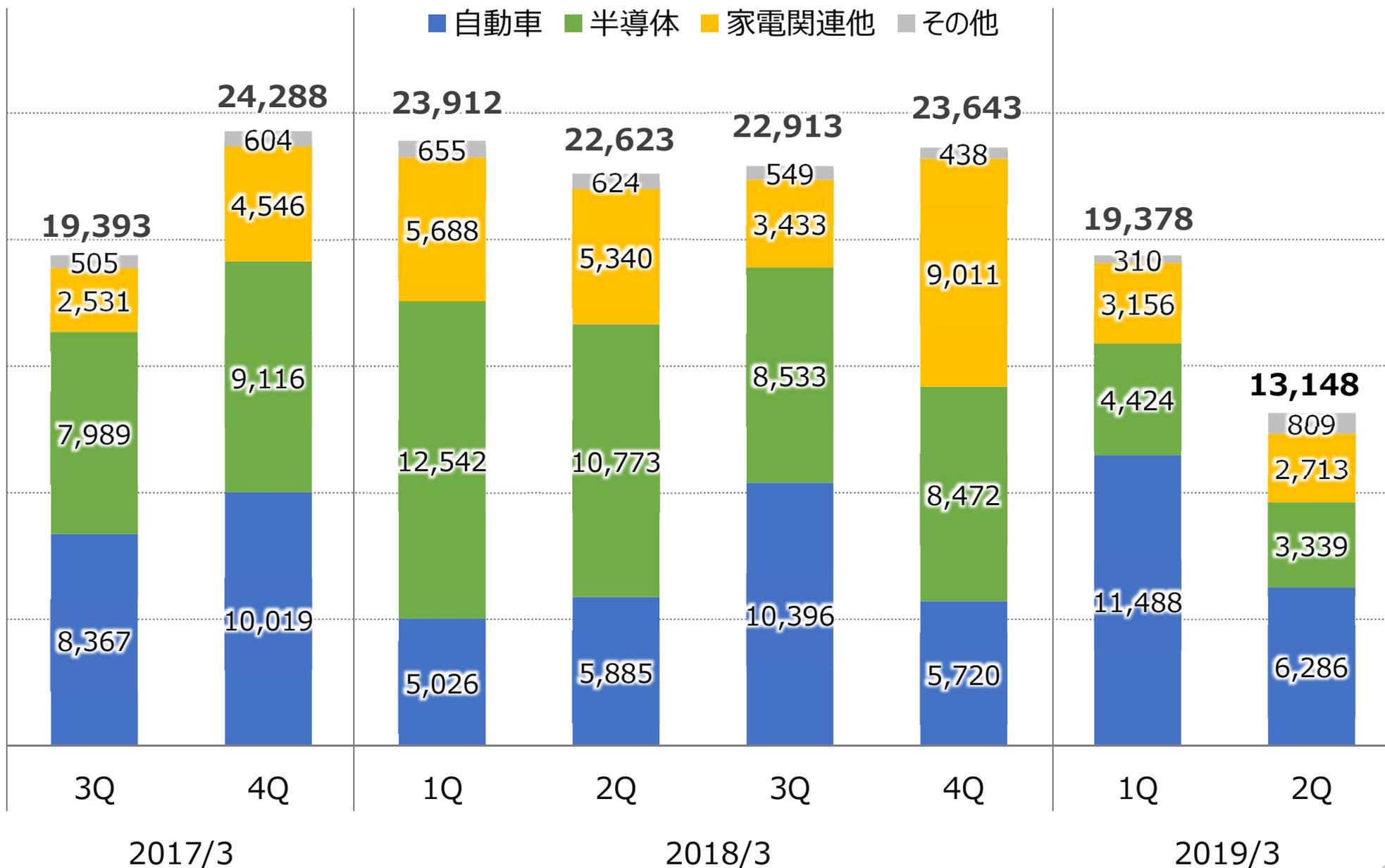
## 事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)



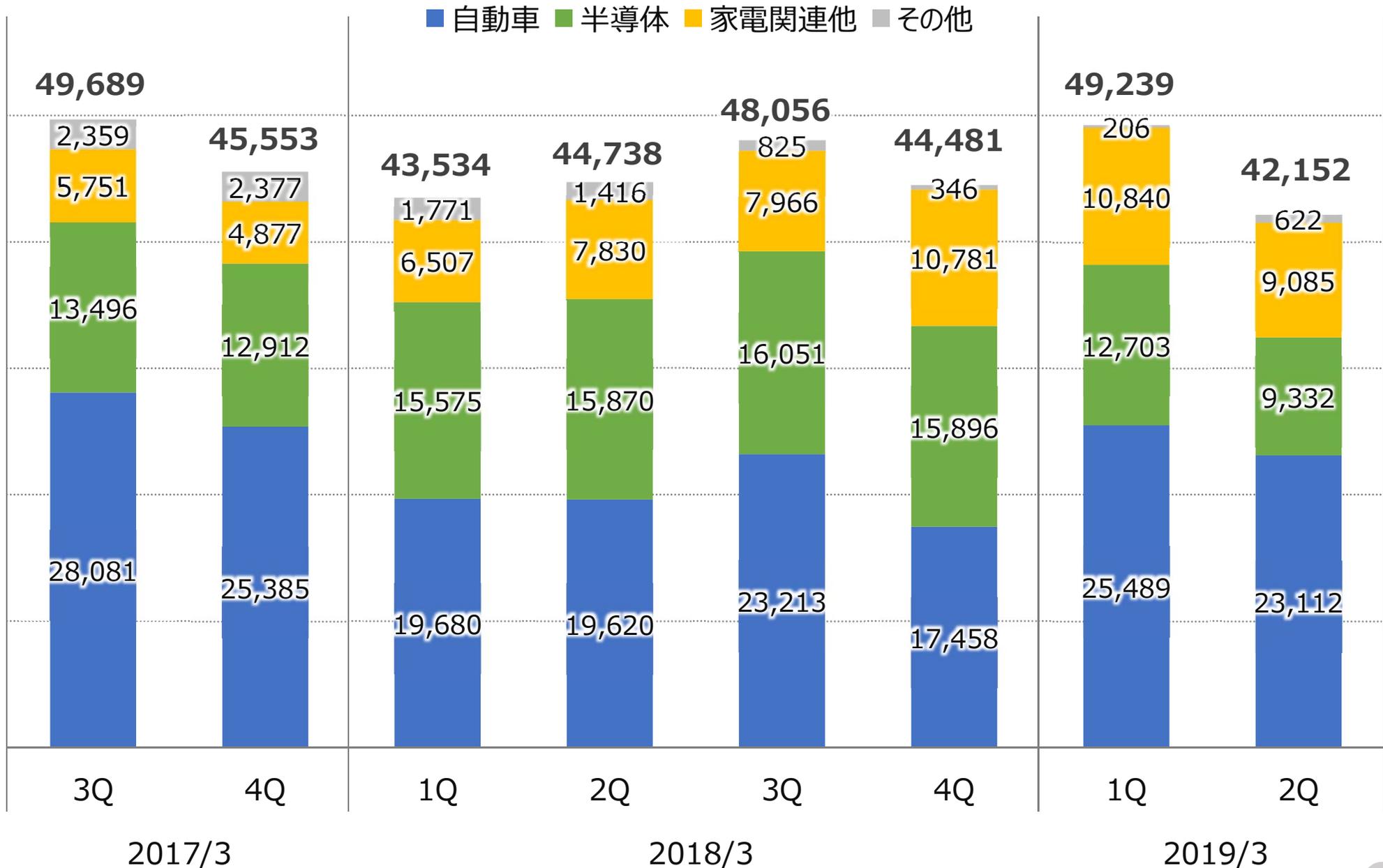
## 事業部門別四半期受注高の推移

(単位：百万円)

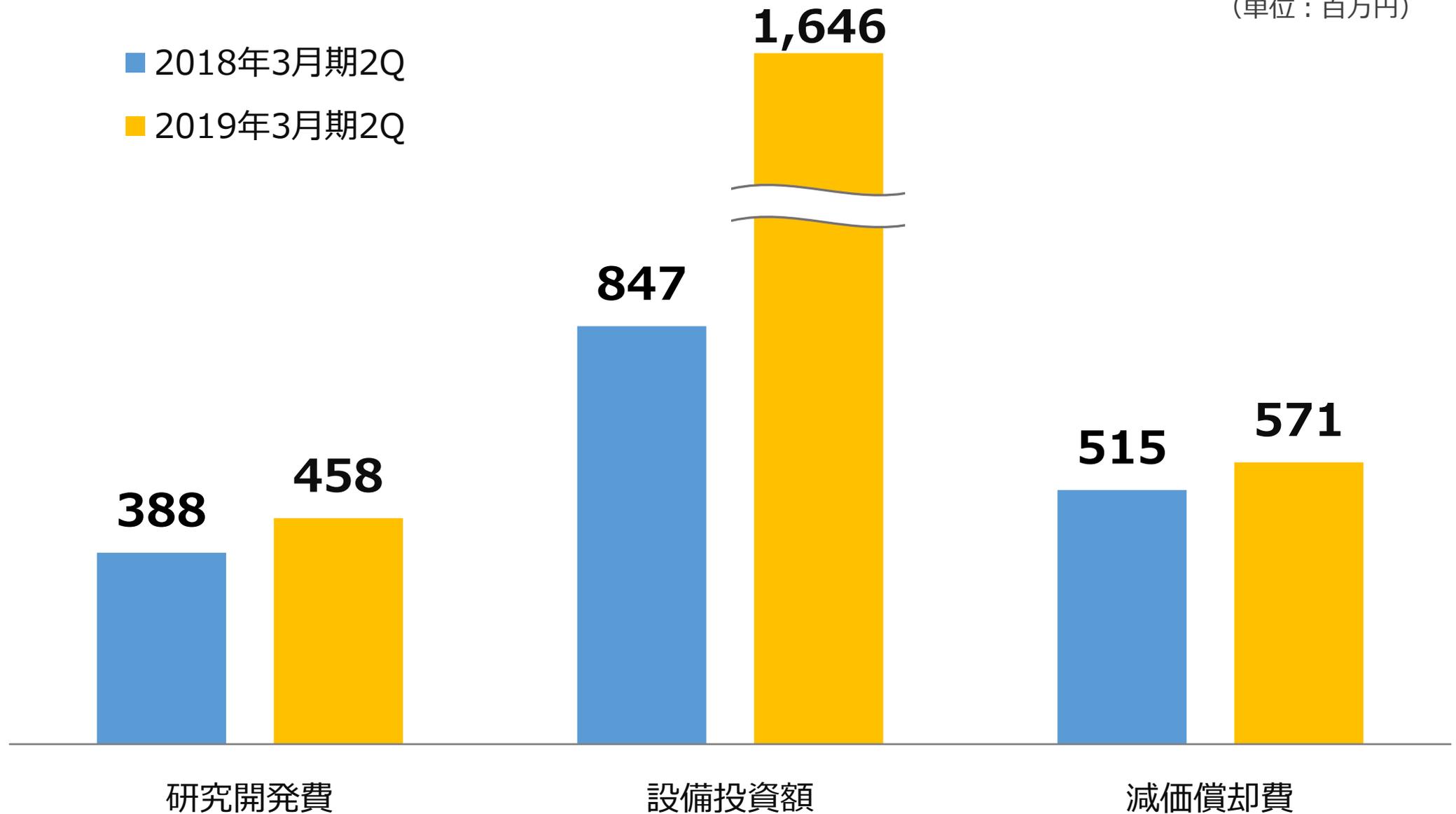


## 事業部門別四半期受注残の推移

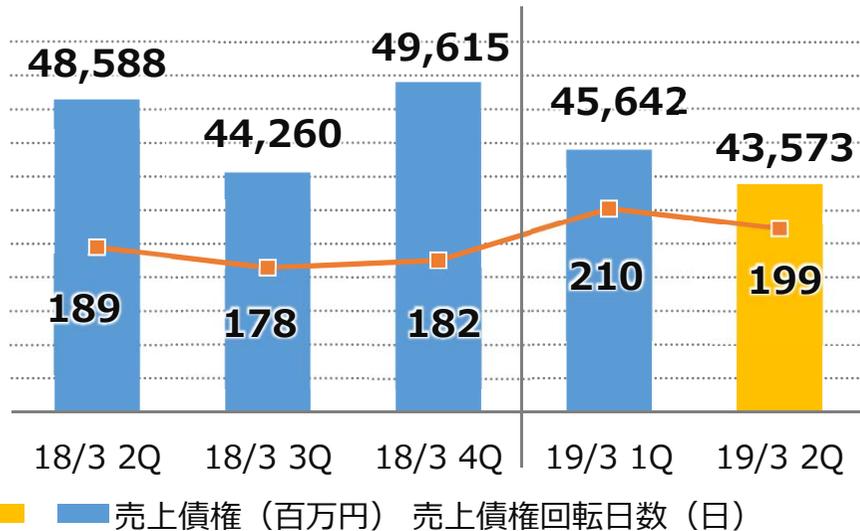
(単位：百万円)



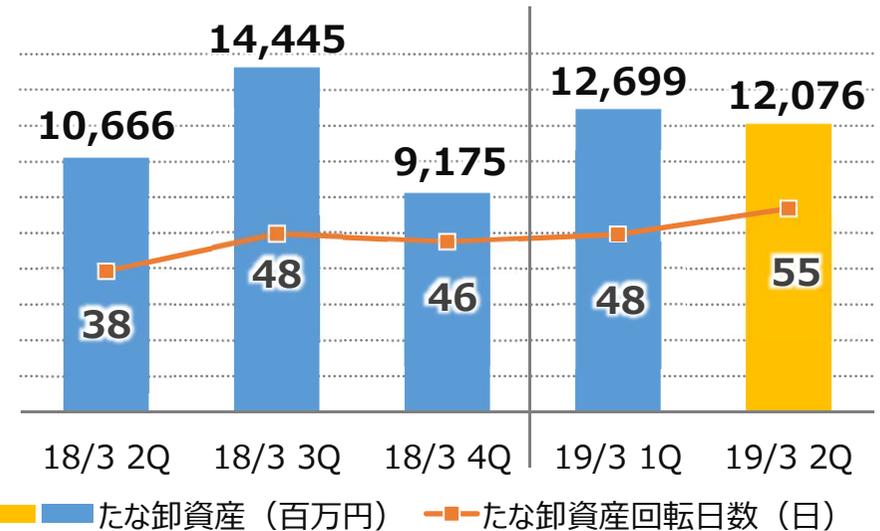
(単位：百万円)



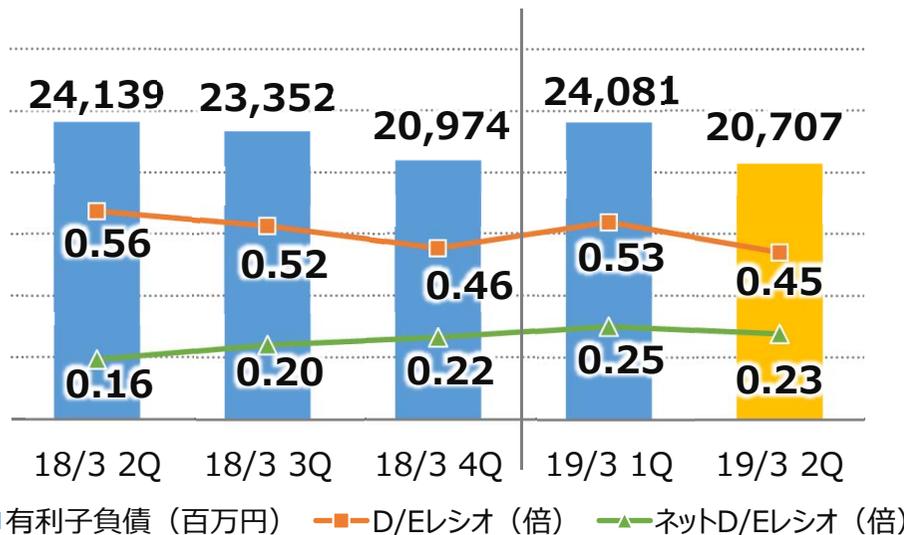
## 売上債権・売上債権回転日数



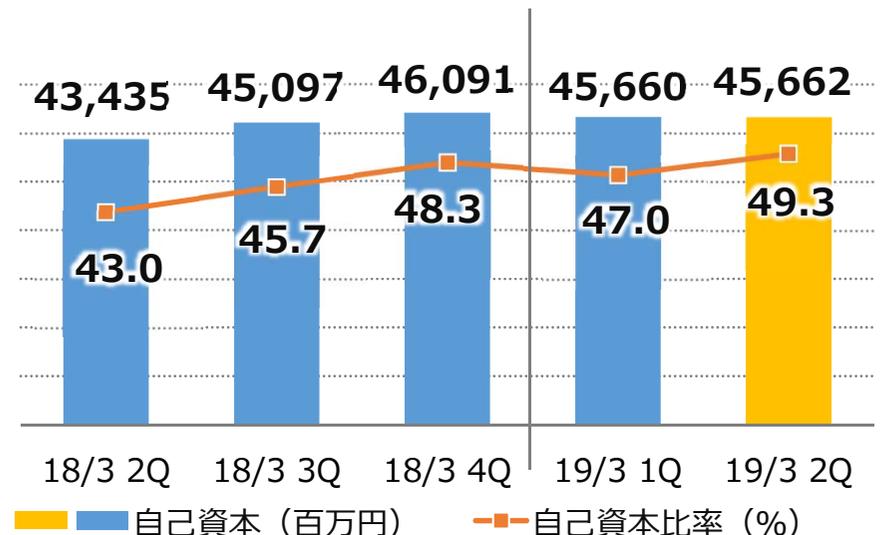
## たな卸資産・たな卸資産回転日数



## 有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



## 自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

## ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。